

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 赤塚 幸一郎 様

代表者 水戸 保  
記録者 佐藤 俊弥  
班員 石垣 昭一  
" 山崎 諭  
" 狩野 佳和  
" 武田 正二



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和元年5月21日(火) 午後7時 ~ 午後8時15分	
2 会 場	市立干布公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	24名(男性21名、女性3名)	
5 報告内容	定例議会報告及び意見交換会	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	<p>1 行政視察の件 経済建設常任委員会の行政視察で、スタジアムを活かしたまちづくり福岡県北九州市にスタジアムの視察に行かれた。山形県でもスタジアムを含めたまちづくりも考えているが、どんなやり方なのか参考になればお尋ねしたい。</p>	<p>スタジアムは小倉駅から徒歩でいける場所で海端にあり収容人数15,000人である。サッカー専用スタジアムで、最前列は臨場感が感じられる。中には結婚式場等様々な設備が整っている。 並行して周辺環境づくりも一緒に学んできた。駅からの途中にはイベント会場、公園等もあり、まちづくりに寄与している。 サッカー観戦に来た人たちが、まちなかを体験し楽しむという、スタジアムを起点としてまちづくりに力を入れ、活性化を最大限に図っているものであった。</p>

2 常任委員会や会派での行政視察など行っているが、議会だよりには場所とか、金額とか書いてあるが、効果や成果を説明して頂きたい。

行政視察は市の課長クラスを二名同行して行う。会派の視察は会派単位で行う。

総務教育常任委員会で松山市に防災士の取り組みの視察に行った。東日本大震災を経験しているので防災士の数を増やしていきたい。松山市では市の負担で資格取得の補助をしており。天童市の場合は、10,000円の資格取得補助を行っている。

安来市の高齢者買い物支援事業を視察した。田麦野地区に似た場所で高齢化が進み、交通手段と移動販売車も無くなり買い物が不便になった。地域住民が地域課題の解決のために芽生えた地域ボランティア活動である。対象者は65歳以上の要支援1と2で、原則火、木の週2回配達である。

配達者の介護予防の効果、配達される者の認知予防と見守り活動も期待できる移動販売であるが、高齢者のボランティア確保が困難で、人件費に経費を充当できないため継続が困難である。本市に適合するかは疑問である。

5374（ごみなし）アプリは、ゴミ収集のカレンダーを見なくても、スマホやタブレットでゴミ収集日や分別種目が一目で簡単に確認できるものである。利用状況は月に15回程度なので本市での採用は無理かもしれない。

米子市のヨネキーズ赤ちゃんファ

		<p>ミリー応援大学は、結婚できない若者がたくさんいるので、結婚、妊娠、出産、育児の全10回、少子化対策のために講演会を実施した。講演会の評判が良く本の作成に至り、次に若者が誰でも見られるようにインターネットに載せたら、アクセス数が千件以上になった。10万都市での実例なので本市には不都合かもしれないが、少子化対策について参考になることもあった。</p> <p>(訂正)</p> <p>結婚率が上がったと報告しましたが、この事業での結婚報告はありませんでした。</p>
	<p>3 天童市に住んでいると、市の良さが実感できないが、行政視察で他の県の視察目的はどういう所か。</p>	<p>ふるさと納税、買い物介護支援の視察が多い。</p>
	<p>4 地域おこし協力隊の具体的な内容はどのようなものか。</p>	<p>隊員は二人である。一人は移住定住の促進で、移住・定住に関すること、結婚活動の支援をする人である。もう一人は英語が堪能で国際交流が出来る人であるが、まだ決まっていない。定住・移住を図り、地域力を強化する仕事である。</p>
	<p>5 国道13号線から西の方は開発が進んでいるが、干布とか東の方は開発が進まない。宅地開発にならないと発展につながらない。</p>	<p>市の中心部だけ進んでいて、西の蔵増、寺津の周辺部も開発が遅れている。</p> <p>駅から半径500メートル以内は開発できるようになった。</p>

	<p>6 AEDは公民館は外に設置しているのだが、学校はなぜ外に設置しないのか。</p>	<p>学校へは、児童生徒のために設置している、御理解していただきたい。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>市民から意見交換会のあり方に対して様々なところで耳にするようになった。5月意見交換会の初日、干布地区での開催になった。干布地域福祉協議会の理事会終了後に参加していただいた市民が多く、日頃から疑問に思ったことを質問していただいた。</p>	